

第3章

10年が経過した福島は今

2021.6.9

GR白書発刊記念シンポ

報告 伴英幸

内容の項目

第1節 福島第一原発の廃炉に向けた取組現状の現状

1. 汚染水の海洋放出問題
2. デブリ取出しの困難性
3. 40年廃炉は可能か？展望なき放射性廃棄物の行方

第2節 福島の実況

1. 進まない若者の帰還と市町村の将来
2. 甲状腺ガンの増加と因果関係、そして心の健康
3. 食品汚染の実況 ～市場に出る基準超え食品

【コラム】 高レベル放射性廃棄物とは

第1節のポイント

1. 汚染水は海洋放出せず、貯蔵・固化処理を
2. 燃料デブリの取出しは困難
3. 廃炉ロードマップ（経産・東電作成）は10年遅れ
放射性廃棄物の処分地の選定はさらに困難
⇒40年廃炉に拘るべきでなく、長期の視点にたっ
て見直すべき

表3-1-1 放射性廃棄物量

(単位はt)

分類	1-6号機	他の施設	水処理施設	廃棄物処理/ 貯蔵施設	サイト修復	合計
燃料デブリ	644	0	0	0	0	644
HLW	2,042	0	0	0	83	2,125
TRU	0	0	16	0	830	846
L1	100,135	104,543	310	1,050	76,030	282,068
L2	429,462	329,364	38,174	200	1,424,600	2,221,800
L3	951,309	2,825,634	151,320	26,325	1,375,000	5,329,588
合計	1,483,592	3,259,541	189,820	27,575	2,876,543	7,837,071

HLW：高レベル放射性廃棄物相当

TRU：TRU廃棄物相当

L1：放射能レベルが比較的高い廃棄物

L2：放射能レベルが比較的低い破棄物

L3：放射能レベルが極めて低い廃棄物

第2節のポイント

1. 進まない若者の帰還
2. 甲状腺ガンの増加
3. 市場に出まわる基準超え食品(山菜やキノコ類)

表3-2-1 飯館村の状況(2020.11.1現在)

事項	人数	世帯数	1世帯人数	備考
事故前(2011.1.1)	6,544	1,716	3.81	
事故直後	6,544	3,200	2.05	世帯分離避難の結果
2020年11月1日現在	5,282	2,265	2.33	住民登録者数
帰還者	1,254	643	1.95	村内で移住していると届け出た人
転入	184	90	2.04	
出生	6			
村内避難	4	3	1.33	長泥地区住民
未避難	6	3	2.00	一度も避難しなかった
いいたてホーム入居	31	31	1.00	
村内居住者	1,485	770	1.93	

(村内在住の伊藤延由氏作成、原子力資料情報室通信559号より)

表3-2-2 甲状腺ガン調査結果

期間(年)	対象者数	受診者数	判定確定数	悪性・悪性疑い	手術数	ガン確定
先行検査 11-13	367,637	300,472	300,472	116 男39女77	102 良性1	101 乳頭ガン100 他1
2回目 14-15	381,244	270,540	270,529	71 前回A-65	52	52 乳頭51他1 男32女39
3回目 16-17	336,669	217,676	217,530	31 男13女18	27	27 乳頭27 男?女?
4回目中 18-19	294,240	181,005 (県外10068)	180,978	27 男11女16	16	16 乳頭16 男?女?
25歳検査悪性・疑い7名、手術4、確定4 合計				252	201	200

(20年6月30日現在)

(県民健康調査検討委員会の資料をもとに筆者作成)